

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センター テトラsecond			
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 27日		～	令和 8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 27日		～	令和 8年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団をメインとした療育をしております。 また、小集団の中でも職員が個別的な介入をすることで、 個々に寄り添った支援が出来ています。	ABAの理論やティーチプログラムの理論に基づき、自閉傾向 が強い子にもしっかりと対応できています。 また、療育に携わる職員も長年の経験と知識を積んだ職員が 多くの確にマネジメントできる体制にあります。	さらなる研修にて自己研鑽を重ね、人間性を高めていける よう努力を続けていきます。
2	より自閉傾向が強い子供たちへの対応を、職員一丸となって 研修などの知識を重ね取り組んでいます。	感覚統合の理論から、様々な体験を通して自己感性の向上や 感情のコントロールなどチームとして支援統一にて実施でき ています。	職員の成功体験を保護者と共有し、より子供たちへの成長 を喜べるよう、連絡や情報共有をより密に進めていきたい と考えています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別的な対応の際には、もう少し部屋数が欲しいと感じま す。	今後は、個別ができる広さも確保したので、ゆとりを持った 療育への取り組みもできるのではと考えています。	個別ルームの活用内容などを療法士を中心に作り上げてい ければと思っています。
2	小集団だけでなく、個別的課題にも対応できるようにして いきたい。	言語療法士などの配置も検討していきたい。	
3			